

令和3年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：令和3年9月7日（火） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+Web

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・次期会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、大植孝治、
田中 潔、湊本康史（以上理事）、山高篤行（監事）、照井慶太（庶務委員長）、
仁田尾慶太（事務局）

出席者（Web）：

越永従道（理事・会長）、石橋広樹、内田広夫、米田光宏（以上理事）、田尻達郎（前
理事長）、上原秀一郎（財務会計委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、
浦尾正彦（財務会計副委員長）、家入里志（施設認定委員会委員長）、菱木知郎（専
門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、内田恵一（規約
委員会委員長）、金森 豊（第37回秋季シンポジウム会長）、臼井規朗（第39回
秋季シンポジウム会長）

欠席者：増本幸二（理事）、黒田達夫（監事）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、田中潔理事、石橋広樹理事とした。
2. 令和3年度第3回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第59回学術集会について（越永会長）

越永会長より資料に基づき、現在の進捗状況の報告があり、承認された。社員総会（評
議員会）については例年通り学術集会前日、現地にて開催する方向とし、新型コロナウ
イルス感染状況によっては完全webに切り替えることも視野に入れて準備を進めること
とした。NPO総会については学術集会2日目の早朝に開催予定。ワークライフバランス検
討委員会主催のセミナーは現地開催で専門医機構のポイントを付与する予定。今回のセ
ミナーについては研究倫理を開催することが決定し、こちらも専門医機構のポイントを
申請したものとする予定。3日目の閉会式についてはwebで行う予定だが、感謝状の授与
等、詳細については今後詰めていくこととした。

日時：令和4年5月19日（木）、20日（金）、21日（土）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成

2) 第60回学術集会について（奥山次期会長）

奥山次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和5年6月1日（木）、2日（金）、3日（土）

会場：大阪国際会議場

3) 第37回秋季シンポジウムについて（金森秋季シンポジウム会長）

金森秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況等が報告され、承認された。演題申込を締め切り、秋季シンポジウムと各研究会の分を合わせて合計235演題であった。

日時：令和3年10月30日（土）

会場：ベルサール神田

テーマ：再生医療と小児外科

4) 第39回秋季シンポジウムについて（臼井次々期秋季シンポジウム会長）

臼井次々期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、2023年10月28日（土）で会場は九州大学百年講堂を第1候補としていること、また開催形式として現地+webのハイブリッドを予定していると報告され、承認された。

5) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2021年7月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,681名（うち海外1名）、評議員310名、準会員25名、名誉会員58名（うち海外8名）、特別会員68名（うち海外1名）、賛助会員1団体の合計2,142名+1団体である。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、抄録アプリの契約が締結したと報告された。

(3) 専門医制度委員会（家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、日本専門医機構に小児外科領域専門医検討委員会の名簿と規約、整備基準を提出したと報告された。新専門医制度の連動更新については、連動更新自体は可能だが、申請者が支払う認定料が小児外科だけではなく、外科の分も支払う形になる予定である。レビューシートの結果について「近隣の都道府県の指導医が一塊となって共通の研修制度を構築していただく等の工夫が必要」というコメントがあったことが報告された。また、認定施設および教育関連施設Aの認定基準における新生児外科症例数「年間10例以上の新生児外科症例」の撤廃による簡素化について提案があり、承認され、細則を改定することとした。令和4年度の施設認定についても令和3年度の審査と同様に施設認定の基準を過去4年間の症例カウントから3で割った数で判定することが報告された。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、機関誌委員会内規に記載の原著と症例報告の定義について見直しを行い投稿規定も改定をしたこと、Authorship（著者の要件）についても見直しをし、同じく投稿規定を改定したと報告がされた。また、倫理規定については研究倫理委員会と検討していると報告された。

(5) 国際・広報委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より資料に基づき、関連学会・研究会ページについて委員会で検討をしていると報告があり、本理事会で出た意見を元に再度委員会で検討を続けることとした。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、来年度診療報酬改正に向けた厚生労働省のヒアリングを7月27日に実施したと報告された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、日本医学会から依頼のあった「優勢遺伝」「劣性遺伝」についての推奨用語について検討を行い、回答したと報告された。また、E-learningについては外科学会持っているプラットフォームを利用することで検討を進めていると報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、副委員長は小松秀吾先生としたことが報告された。また、がんの子どもを守る会の海外留学助成事業について報告があり、会員にメール配信で周知することが承認され。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、「在宅および病院における経腸栄養新規格コネクタの実験調査」の学術アンケート調査について委員会で審議し承認されたと報告があり、理事会でも承認された。なお、対象施設については学術・先進医療検討委員会委員の所属する施設で対応することとした。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、アセトアミノフェン静注製剤過量投与についての注意喚起する方法として意見交換がされ、学会 HP に注意喚起文書を掲載する事と製薬会社への要望書を出すために小児期外科系関連学会協議会の田口会長宛ての文書を作成して送付することとした。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、今年度の NCD データを利用した研究申請については、「21-03」と「21-05」の 2 課題が承認された。また、前年度の複数領域の研究について研究計画変更の要望書が提出されたと報告があり、審議の結果、承認された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、COVID-19 による小児外科診療への影響に関するアンケートの内容の検討を行ったと報告があり、学術・先進医療検討委員会において学術アンケート申請を行う予定であると報告された。また、今年の PALS 講習会については連絡の行き違い等があり、学会ホームページ上で広報できていなかったと報告があり、今年募集を行わないこととした。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、学会員に対してハラスメントに関するアンケート調査を行いたいと提案があり、学術アンケート申請に則って申請を出すこととした。今回の秋季シンポジウムでワークライフバランス委員会企画のシンポジウムとして上野千鶴子氏に登壇いただき講演を行う予定である。また、日本外科学会の男女共同参画委員会が近い内に開催される予定であるので、提言を委員会で作成して提出予定であると報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事、内田委員長）

石橋担当理事、内田委員長より、現在理事会内規の振り分け作業を行っているところであり、委員会で振り分け案が決まったため、各委員会委員長に確認してもらうステップに移行する予定であると報告された。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、機関誌委員会から審議依頼のあった日本小児外科学会雑誌の投稿規定の改定について審議したと報告があり、倫理指針のホームページ掲載については、研究倫理委員会でホームページに掲載する文面案を作成することとした。

(17) NCD 連絡委員会（澁本担当理事）

澁本担当理事より資料に基づき、小児外科-NCD 術式対応表について検討を行ったと報告された。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、日本医学放射線学会から依頼のあった画像診断ガイドライン 2021 年度版について審議を行ったこと、腸回転異常症診断ガイドライン、小児胃軸捻転症診断ガイドラインの進捗状況が報告された。

(19) 利益相反委員会（増本担当理事欠席のため奥山理事長）

増本担当理事欠席のため奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(21) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(22) 四者協関連（越永理事）

越永理事より資料に基づき、7月21日に開催された日本小児医療保健協議会についてCOI基準について厳しい基準で統一されたと報告された。

6) がんの子どもを守る会からの後援名義依頼について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、がんの子どもを守る会から後援名義依頼があったと報告があり、後援することが承認された。

7) Surgery today IF 上昇の取り組みについて（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、日本外科学会が発行しているSurgery todayのインパクトファクターを上げたいと日本外科学会の英文誌編集委員会で議論されたと報告があり、英文論文を書く際は引用をお願いしたいという周知依頼について、国際・広報委員会で周知文面を作成することとした。

8) 日本小児麻酔学会委嘱代議員推薦について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、日本小児麻酔学会から委嘱代議員の推薦依頼があったと報告があり、大植理事と田中理事を再任としてはどうかと提案があり、承認された。

9) 胆道閉鎖症の「診断基準」や「重症度分類」等を含む説明文書の修正について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、東北大学の仁尾先生より学会承認の依頼があったと報告があり、承認された。

10) 第4回日本周産期精神保健研究会からの後援名義依頼について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、第4回日本周産期精神保健研究会から後援名義依頼があ

ったと報告があり、後援することが承認された。

- 11) 女性理事クォーター制について（奥山理事長、浮山ワークライフバランス検討委員会担当理事、照井庶務委員）

奥山理事長、浮山ワークライフバランス検討委員会担当理事、照井庶務委員長より資料に基づき、総合調整委員会で議論された女性理事クォーター制について検討を行ったと報告があり、審議の結果、継続審議とした。なお、本日の理事会で合意されたことは、理事の女性枠を設けること、枠は1名であること、任期は2年として再任可能とすることまで、今後総合調整委員会と理事会で議論を続けることとした。

- 12) 鼠経ヘルニアに関するネット記事について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、会員からあるクリニックのホームページ上に鼠経ヘルニアに関する誤った記事が載っていると連絡があったと報告があり、記事の内容の信憑性を理事長名で問うこととした。

- 13) 学術集会余剰金の扱いについて（山高監事）

山高監事より、学術集会会計の余剰金に関して、お金集めは会長主導で行っているため、学術集会主催者側に、今後、余剰金の一部を戻すことを検討してはとの提案があった。会長主導で集金を行っている学会では余剰金の一部を戻している学会があることから余剰金の何%を戻しているかなど調査することとした。

4. 報告事項

- 1) 理事長報告（奥山理事長）

- (1) 第1回メール審議報告（定期学術集会、秋季シンポジウム・PSJMの学会アプリ）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (2) 第2回メール審議報告（腸回転異常症ガイドラインの配布）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (3) 第3回メール審議報告（新専門医制度に関するサブスペシャリティ小児外科領域整備基準）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (4) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 第48巻第2号」を受領した。
- (5) 株式会社へるす出版からの寄贈本「小児版 臓器提供ハンドブック」を受領した。
- (6) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.384」を受領した。
- (7) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.385」を受領した。
- (8) 難病医学研究財団からの寄贈本「難病研究財団ニュース No.54」を受領した。
- (9) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.187」を受領した。
- (10) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故の再発防止に向けた提言 第14号」を受領した。

- (11) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-6」を受領した。
- (12) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-7」を受領した。
- (13) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-8」を受領した。
- (14) 日本外科学会からの寄贈本「日本外科学会 120 年記念誌」を受領した。
- (15) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No.204」を受領した。
- (16) 日本医療機器学会からの通信文「理事長・副理事長交代の挨拶」を受領した。
- (17) 日本看護科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (18) 日本呼吸器外科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (19) 日本産科婦人科学会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。
- (20) 日本胆道学会からの通信文「法人化のお知らせ」を受領した。
- (21) 日本医学会からの通信文「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌）の一部改正について」を受領した。
- (22) 日本小児科学会からの通信文「「ビタミン K 欠乏性出血性疾患発症予防に関する提言」への賛同のお願い」を受領した。
- (23) 川野小児医学奨学財団からの通信文「小児医学川野賞候補者推薦のご依頼」を受領した。
- (24) 「難治性小児消化器疾患の水準向上および移行期・成人の QOL 向上に関する研究」研究班からの通信文「診断手引きの学会承認のお願い」を受領した。
- (25) 日本新生児成育医学会からの通信文「「ロクロニウム臭化物」の記載内容再検討の要望書ご確認のお願い」を受領した。
- (26) 日本専門医機構からの通信文「共通講習とサブスペ領域認定料について」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和3年10月27日（水）12：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長

理事

理事
